

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2012年6月調査）

2012年7月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容	1
II. 調査の結果	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2012年4～6月の実績と2012年7～9月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,074社からご協力をいただき、回答率は43.0%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

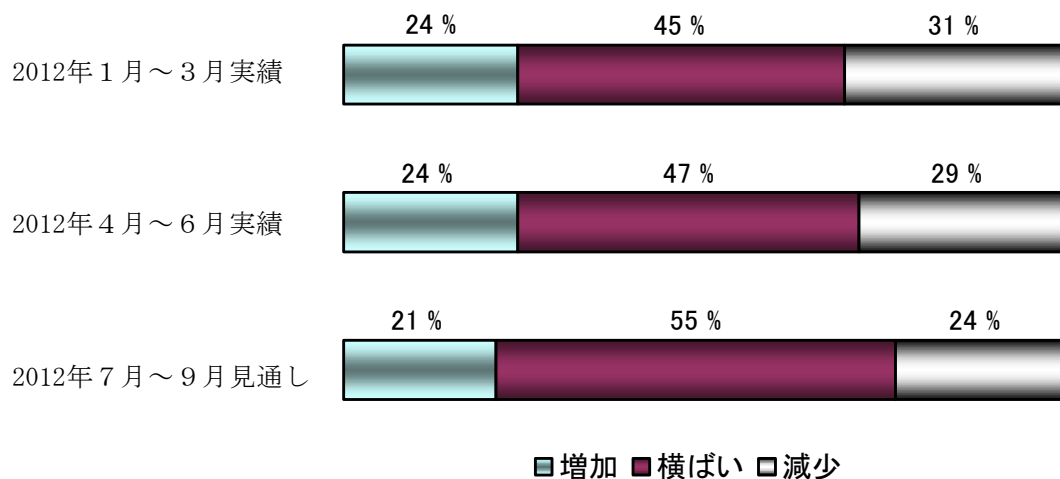
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	99	42.7
	繊 維 ・ 衣 服	111	48	43.2
	木 材 ・ 家 具	96	46	47.9
	パ ル プ ・ 紙	107	53	49.5
	化学・プラスチック	239	118	49.4
	窯 業 ・ 土 石	102	42	41.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	102	52.3
	金 属 製 品	128	55	43.0
	一 般 機 械	222	100	45.0
	電 気 機 械	333	129	38.7
	輸 送 用 機 械	251	99	39.4
	精 密 機 械	67	22	32.8
	そ の 他	167	57	34.1
	計	2,250	970	43.1
卸 売 業	生 産 財	124	60	48.4
	消 費 財	126	44	34.9
	計	250	104	41.6
合 計		2,500	1,074	43.0

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

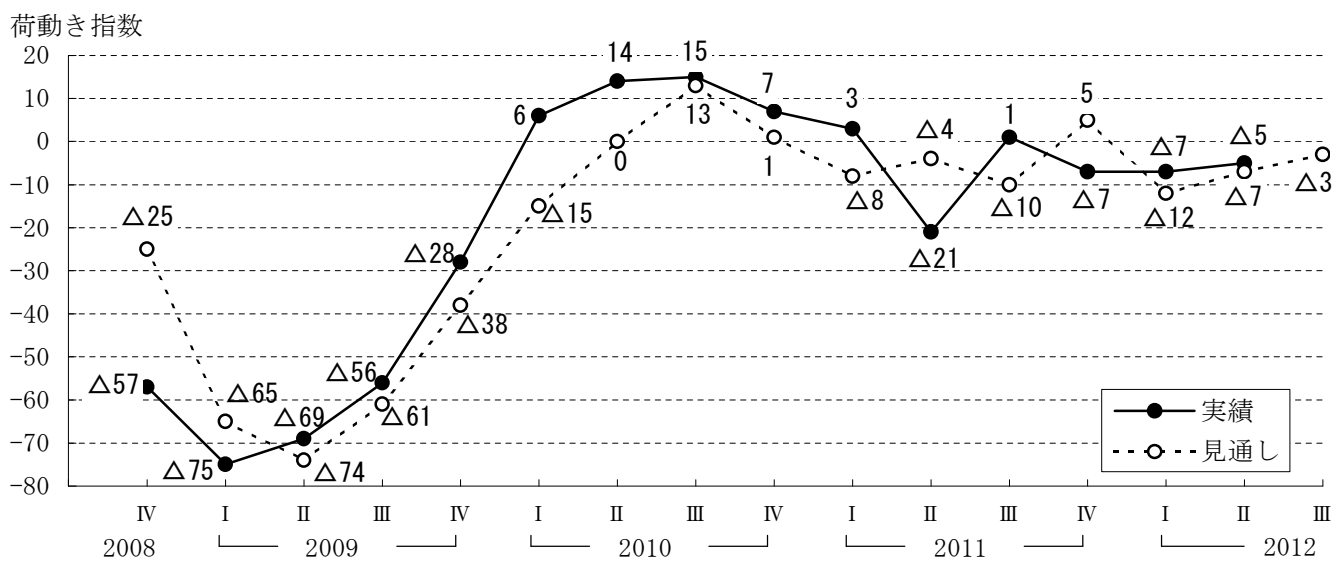
- 4～6月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（1～3月）実績と変わらず24%となった。また、「減少」との回答は前期より2ポイント低下し29%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は2ポイント上昇して△5となった。
- 7～9月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績（見込み）より3ポイント低下し21%となり、また「減少」との回答も5ポイント低下し24%になる。この結果『荷動き指数』は2ポイント上昇して△3と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年4～6月実績では、東日本大震災の影響を受けて、『荷動き指数』が△21と6期ぶりにマイナスに転じたが、サプライチェーンが復旧した7～9月実績において、V字型の回復によりプラス水準へと浮上した。しかし、10～12月実績で△7と再びマイナスに沈んだあと、2012年1～3月実績、4～6月実績（見込み）、さらに7～9月見通しにおいても水面下の推移が見込まれており、荷動きの停滞が続いている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2012年Ⅲ期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2012年Ⅱ期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 4～6月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、輸送用機械、その他の製造業など5業種がプラス、パルプ・紙、生産財卸など10業種がマイナスとなった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、11業種で前期（4～6月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が上昇するものの、プラスの業種は精密機械など5業種にとどまり、残り10業種がマイナスを示す。このように、総じて持ち直しの動きがみられるが、依然として広範囲の業種で荷動きの停滞が続いている。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	91	29	46	25	4	91	24	63	13	11
	繊維・衣服	48	19	52	29	△ 10	48	13	60	27	△ 14
	木材・家具	46	33	41	26	7	46	28	52	20	8
	パルプ・紙	52	12	40	48	△ 36	52	8	50	42	△ 34
	化学・プラスチック	116	16	58	26	△ 10	116	18	61	21	△ 3
	窯業・土石	41	17	51	32	△ 15	41	14	66	20	△ 6
	鉄鋼・非鉄	101	28	39	33	△ 5	101	23	50	27	△ 4
	金属製品	53	32	42	26	6	53	28	40	32	△ 4
	一般機械	97	21	47	32	△ 11	96	19	52	29	△ 10
	電気機械	127	24	41	35	△ 11	127	22	50	28	△ 6
	輸送用機械	96	44	41	15	29	96	25	52	23	2
	精密機械	22	9	73	18	△ 9	22	27	64	9	18
	その他	56	32	52	16	16	56	29	54	17	12
計	946	25	47	28	△ 3	945	21	55	24	△ 3	
卸売業	生産財	59	17	47	36	△ 19	59	18	51	31	△ 13
	消費財	43	19	51	30	△ 11	43	16	63	21	△ 5
	計	102	18	49	33	△ 15	102	18	56	26	△ 8
合計	1,048	24	47	29	△ 5	1,047	21	55	24	△ 3	

■ 4～6月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、東北、東海、中国でプラスを示し、残り6地域ではマイナスとなった。なかでも、北海道、北陸・信越、四国、九州・沖縄では2ケタのマイナスを示し、荷動きの減退が顕著である。

■ 7～9月の見通しでは、5地域で『荷動き指数』が上昇する一方、逆に4地域では悪化が見込まれるなど、地域により跛行性がみられる。東海が唯一プラスを示し、東北がゼロ水準で、残り7地域がマイナスとなっており、荷動き回復の動きは限定的である。

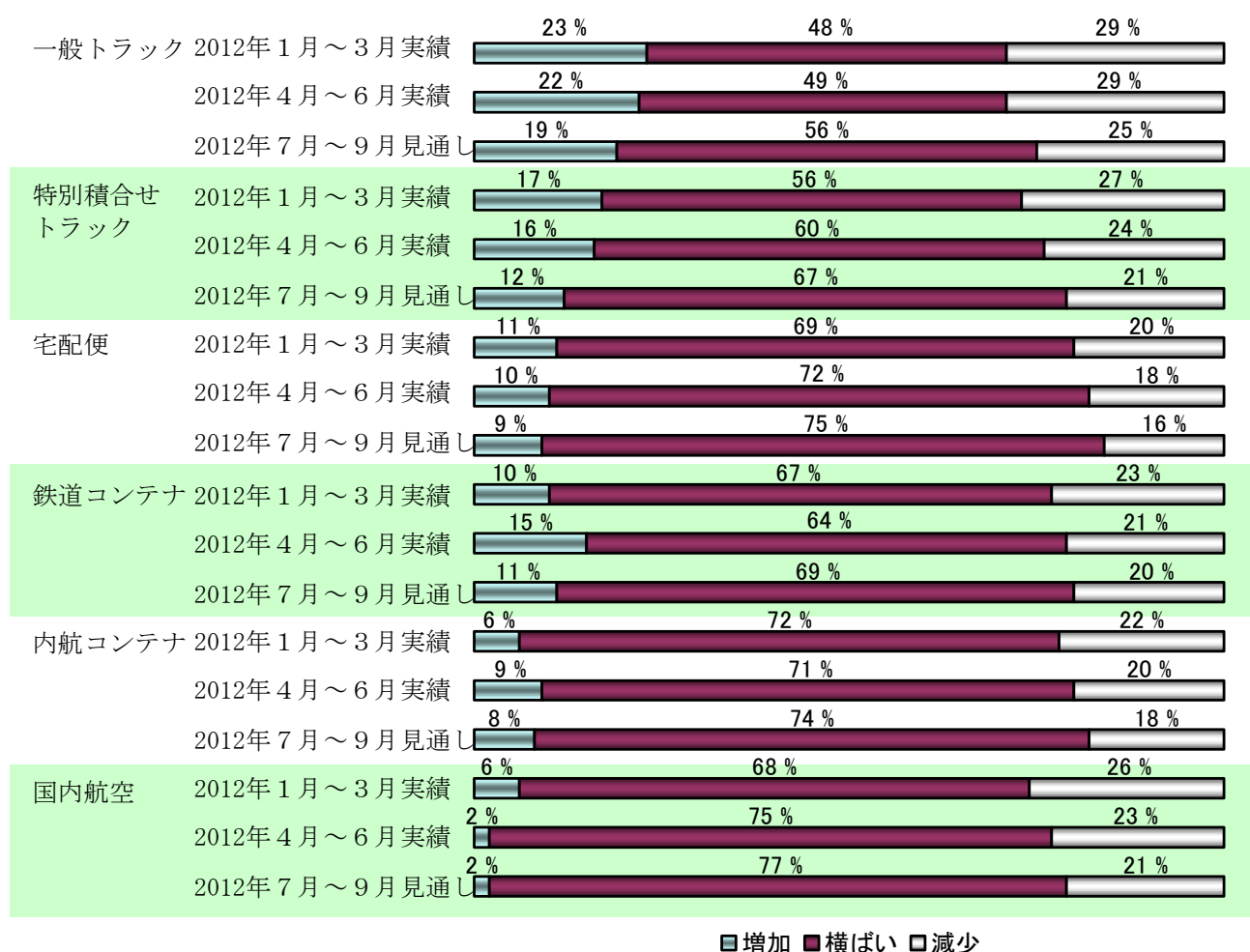
国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	47	19	51	30	△ 11	47	17	62	21	△ 4
東 北	96	27	49	24	3	96	24	52	24	0
関 東	260	25	48	27	△ 2	260	21	55	24	△ 3
北 陸 ・ 信 越	112	20	42	38	△ 18	112	22	49	29	△ 7
東 海	157	32	41	27	5	157	29	51	20	9
近 畿	143	24	50	26	△ 2	143	20	53	27	△ 7
中 国	97	26	49	25	1	96	20	58	22	△ 2
四 国	60	15	47	38	△ 23	60	6	67	27	△ 21
九 州 ・ 沖 縄	76	20	46	34	△ 14	76	17	55	28	△ 11
合 計	1,048	24	47	29	△ 5	1,047	21	55	24	△ 3

－ 2. 輸送機関利用の動向－

- 4～6月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関においてマイナスとなった。前期（1～3月）実績との比較では、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナでは改善がみられる一方、一般トラックおよび国内航空では僅かながら低下した。
- 7～9月の見通しでは、引き続きプラスの輸送機関は皆無であり、一般トラック、宅配便、内航コンテナ、国内航空で小幅ながら『利用動向指数』が改善する一方、特別積合せトラックおよび鉄道コンテナでは悪化が見込まれる。この結果、いずれの輸送機関においても、利用回復に向けての足取りは引き続き重いものとみられる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具、輸送用機械、その他の製造業の3業種がプラス、金属製品および精密機械がゼロ水準で、残り10業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△7で、前期（1～3月）実績からは弱含み横ばいとなった。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに落ち込む一方、食料品・飲料、鉄鋼・非鉄、精密機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と強含み横ばいで推移し、利用の減退が続くものの、減退圧力はいくぶん緩和するものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	95	25	46	29	△4	92	23	61	16	7	
繊維・衣服	40	14	53	33	△19	40	10	60	30	△20	
木材・家具	45	38	36	26	12	45	27	53	20	7	
パルプ・紙	53	9	38	53	△44	53	8	49	43	△35	
化学・プラスチック	118	17	55	28	△11	116	16	60	24	△8	
窯業・土石	38	11	55	34	△23	38	13	69	18	△5	
鉄鋼・非鉄	99	22	52	26	△4	97	23	56	21	2	
金属製品	54	28	44	28	0	53	28	44	28	0	
一般機械	97	18	53	29	△11	96	16	58	26	△10	
電気機械	113	21	44	35	△14	113	21	48	31	△10	
輸送用機械	95	43	41	16	27	93	22	51	27	△5	
精密機械	18	6	88	6	0	18	17	78	5	12	
その他	54	28	54	18	10	53	26	55	19	7	
計	919	23	49	28	△5	907	20	55	25	△5	
卸売業	生産財	56	14	52	34	△20	55	15	56	29	△14
	消費財	41	19	54	27	△8	40	17	60	23	△6
	計	97	16	53	31	△15	95	16	58	26	△10
合計	1,016	22	49	29	△7	1,002	19	56	25	△6	

(2) 特別積合せトラック

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具など4業種がプラスで、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△8で、前期（1～3月）実績からは2ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈み、金属製品もゼロ水準に下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△9と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、利用の減退傾向に変化はないものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	65	7	65	28	△21	63	13	70	17	△4
	繊維・衣服	32	16	50	34	△18	32	9	66	25	△16
	木材・家具	31	35	52	13	22	31	26	65	9	17
	パルプ・紙	33	12	55	33	△21	33	9	58	33	△24
	化学・プラスチック	100	18	72	10	8	99	11	81	8	3
	窯業・土石	32	6	60	34	△28	32	3	66	31	△28
	鉄鋼・非鉄	61	13	62	25	△12	61	10	69	21	△11
	金属製品	45	22	58	20	2	45	18	64	18	0
	一般機械	78	13	59	28	△15	78	6	70	24	△18
	電気機械	100	18	53	29	△11	100	17	59	24	△7
	輸送用機械	72	22	63	15	7	70	11	66	23	△12
	精密機械	11	0	82	18	△18	11	9	73	18	△9
その他	38	13	66	21	△8	37	14	59	27	△13	
計	698	16	61	23	△7	692	12	67	21	△9	
卸売業	生産財	44	7	59	34	△27	44	11	66	23	△12
	消費財	30	17	50	33	△16	30	17	60	23	△6
	計	74	11	55	34	△23	74	13	64	23	△10
合計	772	16	60	24	△8	766	12	67	21	△9	

(3) 宅配便

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、繊維・衣服、木材・家具、輸送用機械の3業種がプラスで、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△8で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈み、繊維・衣服および木材・家具もゼロ水準に下降する一方、精密機械がプラスに浮上し、電気機械などでマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と強含み横ばいで推移する見込みで、利用の減退傾向に変化はないものの、減退圧力はいくぶん緩和するものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	72	5	82	13	△8	69	4	86	10	△6
繊維・衣服	43	16	70	14	2	43	9	82	9	0
木材・家具	37	19	68	13	6	36	8	84	8	0
パルプ・紙	26	12	69	19	△7	26	12	69	19	△7
化学・プラスチック	87	3	86	11	△8	87	2	87	11	△9
窯業・土石	28	3	68	29	△26	28	0	86	14	△14
鉄鋼・非鉄	67	7	78	15	△8	67	6	81	13	△7
金属製品	49	12	72	16	△4	49	12	70	18	△6
一般機械	94	13	64	23	△10	94	10	70	20	△10
電気機械	114	11	61	28	△17	114	15	64	21	△6
輸送用機械	78	14	77	9	5	77	12	71	17	△5
精密機械	20	10	70	20	△10	20	30	50	20	10
その他	44	16	66	18	△2	43	14	65	21	△7
計	759	10	72	18	△8	753	9	75	16	△7
卸売業										
生産財	50	8	76	16	△8	49	10	76	14	△4
消費財	32	9	72	19	△10	32	3	84	13	△10
計	82	9	74	17	△8	81	7	79	14	△7
合計	841	10	72	18	△8	834	9	75	16	△7

(4) 鉄道コンテナ

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具など5業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、窯業・土石、生産財卸など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服、金属製品など4業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△9と3ポイント低下する見通しで、前期（4～6月）においていくぶん弱まった減退圧力は再び強まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	45	20	62	18	2	44	16	70	14	2
繊維・衣服	13	15	70	15	0	13	8	77	15	△7
木材・家具	18	22	78	0	22	18	11	83	6	5
パルプ・紙	35	11	55	34	△23	35	14	49	37	△23
化学・プラスチック	86	15	64	21	△6	86	10	75	15	△5
窯業・土石	13	0	69	31	△31	13	0	77	23	△23
鉄鋼・非鉄	36	16	53	31	△15	36	8	67	25	△17
金属製品	23	22	61	17	5	23	13	65	22	△9
一般機械	42	7	79	14	△7	42	9	79	12	△3
電気機械	39	12	67	21	△9	39	15	64	21	△6
輸送用機械	35	23	60	17	6	35	14	69	17	△3
精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
その他	28	21	65	14	7	28	14	65	21	△7
計	419	16	64	20	△4	418	11	70	19	△8
卸売業										
生産財	12	8	59	33	△25	12	8	59	33	△25
消費財	19	10	58	32	△22	19	10	58	32	△22
計	31	10	58	32	△22	31	10	58	32	△22
合計	450	15	64	21	△6	449	11	69	20	△9

(5) 内航コンテナ

- 4～6 月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料が唯一プラスを示し、繊維・衣服および輸送用機械がゼロ水準で、残り 12 業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△11 で、前期（1～3 月）実績からは5ポイント上昇した。
- 7～9 月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械がゼロ水準まで戻す以外は小幅な動きにとどまる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△10 と強含み横ばいで推移し、利用は引き続き減退する見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	28	21	72	7	14	28	21	72	7	14	
繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
木材・家具	14	7	64	29	△ 22	14	0	71	29	△ 29	
パルプ・紙	22	13	64	23	△ 10	22	9	68	23	△ 14	
化学・プラスチック	51	5	75	20	△ 15	50	8	76	16	△ 8	
窯業・土石	10	0	70	30	△ 30	10	0	80	20	△ 20	
鉄鋼・非鉄	26	4	81	15	△ 11	26	0	88	12	△ 12	
金属製品	19	5	74	21	△ 16	19	5	74	21	△ 16	
一般機械	38	11	63	26	△ 15	38	8	71	21	△ 13	
電気機械	34	8	74	18	△ 10	34	6	76	18	△ 12	
輸送用機械	22	14	72	14	0	22	14	72	14	0	
精密機械	7	0	71	29	△ 29	7	14	72	14	0	
その他	19	16	58	26	△ 10	19	11	63	26	△ 15	
計	296	9	71	20	△ 11	295	8	75	17	△ 9	
卸売業	生産財	9	11	56	33	△ 22	9	22	45	33	△ 11
	消費財	13	7	62	31	△ 24	13	0	69	31	△ 31
	計	22	9	59	32	△ 23	22	9	59	32	△ 23
合計	318	9	71	20	△ 11	317	8	74	18	△ 10	

(6) 国内航空

■ 4～6月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、全15業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△21で、前期（1～3月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『利用動向指数』見通しにおいても、引き続き全15業種がマイナスとなるが、一般機械、電気機械などでマイナス幅が縮小する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△19と2ポイント上昇する見込みであるが、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

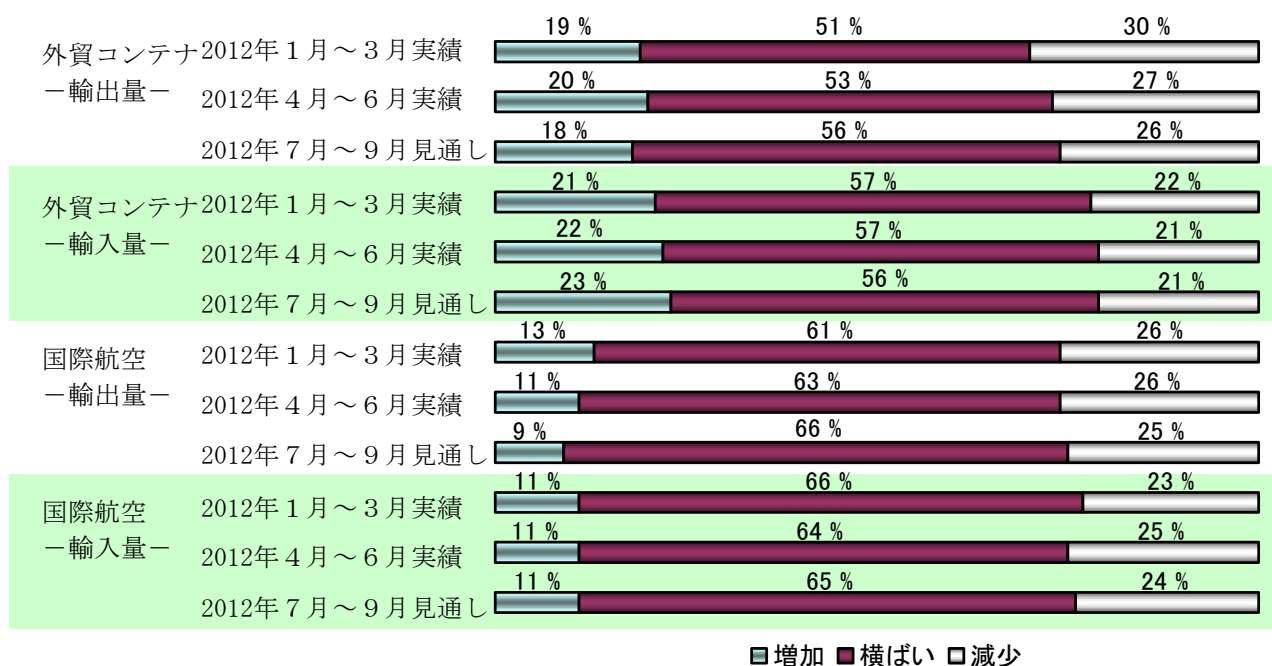
業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	28	4	82	14	△10	28	3	86	11	△8
繊維・衣服	12	0	75	25	△25	12	0	75	25	△25
木材・家具	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
パルプ・紙	10	0	80	20	△20	10	0	70	30	△30
化学・プラスチック	39	0	95	5	△5	39	0	95	5	△5
窯業・土石	10	0	60	40	△40	10	0	70	30	△30
鉄鋼・非鉄	20	5	75	20	△15	20	5	75	20	△15
金属製品	18	0	83	17	△17	18	0	78	22	△22
一般機械	59	2	71	27	△25	59	2	76	22	△20
電気機械	59	7	64	29	△22	59	5	71	24	△19
輸送用機械	24	4	75	21	△17	24	4	75	21	△17
精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
その他	18	0	72	28	△28	18	11	61	28	△17
計	314	2	76	22	△20	314	3	77	20	△17
卸売業										
生産財	11	0	64	36	△36	11	0	73	27	△27
消費財	13	8	54	38	△30	13	0	62	38	△38
計	24	4	58	38	△34	24	0	67	33	△33
合計	338	2	75	23	△21	338	2	77	21	△19

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナでは前期（1～3月）よりも改善がみられ、輸入ではプラスに浮上した。一方、国際航空では小幅な低下がみられ、輸出・輸入とも引き続きマイナスの推移となった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナの輸入および国際航空の輸入において小幅な上昇がみられる一方、外貿コンテナの輸出および国際航空の輸出では小幅ながら下降する見通しである。この結果、外貿コンテナの輸入以外は引き続き荷動きの減退圧力が強いものとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、金属製品、輸送用機械、その他の製造業の3業種がプラス、食料品・飲料など3業種がゼロ水準で、木材・家具、窯業・土石など9業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△7で、前期（1～3月）実績からは4ポイントの上昇がみられた。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械がプラスに浮上する一方、鉄鋼・非鉄でマイナス幅が拡大するほか、その他の製造業などでもプラス幅が縮小する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△8と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、荷動きの減退傾向に変化はないものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	12	25	50	25	0	12	17	66	17	0
繊維・衣服	13	7	62	31	△24	13	15	54	31	△16
木材・家具	7	14	43	43	△29	7	14	43	43	△29
パルプ・紙	15	20	53	27	△7	15	20	53	27	△7
化学・プラスチック	63	14	61	25	△11	62	11	68	21	△10
窯業・土石	17	6	53	41	△35	17	6	65	29	△23
鉄鋼・非鉄	43	16	54	30	△14	43	9	65	26	△17
金属製品	20	35	60	5	30	19	26	58	16	10
一般機械	65	11	51	38	△27	65	11	55	34	△23
電気機械	54	22	48	30	△8	54	26	46	28	△2
輸送用機械	51	31	49	20	11	51	33	42	25	8
精密機械	12	17	66	17	0	12	25	58	17	8
その他	25	44	44	12	32	25	24	56	20	4
計	397	20	53	27	△7	395	18	56	26	△8
卸売業										
生産財	8	25	50	25	0	8	25	50	25	0
消費財	11	0	73	27	△27	11	0	73	27	△27
計	19	11	63	26	△15	19	11	63	26	△15
合計	416	20	53	27	△7	414	18	56	26	△8

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、金属製品、精密機械など6業種がプラス、食料品・飲料および木材・家具がゼロ水準で、窯業・土石、一般機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス1で、前期（1～3月）実績からは2ポイントの上昇となった。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料および木材・家具がマイナスに落ち込み、生産財卸もゼロ水準まで下降する一方、化学・プラスチックおよび消費財卸がプラスに浮上することなどにより、業種全体の『荷動き指数』はプラス2と強含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、荷動きは緩やかながら拡大基調へ向かう見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業 種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	15	20	60	20	0	16	19	56	25	△6
	繊維・衣服	16	19	56	25	△6	16	18	44	38	△20
	木材・家具	11	18	64	18	0	11	9	73	18	△9
	パルプ・紙	13	15	54	31	△16	13	15	54	31	△16
	化学・プラスチック	58	13	71	16	△3	58	21	71	8	13
	窯業・土石	16	18	44	38	△20	16	13	56	31	△18
	鉄鋼・非鉄	33	15	58	27	△12	33	15	52	33	△18
	金属製品	20	30	60	10	20	19	26	58	16	10
	一般機械	55	14	53	33	△19	55	20	51	29	△9
	電気機械	56	30	47	23	7	56	32	50	18	14
	輸送用機械	53	32	53	15	17	53	26	59	15	11
	精密機械	12	33	59	8	25	12	42	50	8	34
その他	24	29	54	17	12	24	33	42	25	8	
計	382	22	56	22	0	382	23	56	21	2	
卸 売 業	生産財	16	31	50	19	12	16	19	62	19	0
	消費財	16	12	69	19	△7	16	25	56	19	6
	計	32	22	59	19	3	32	22	59	19	3
合計	414	22	57	21	1	414	23	56	21	2	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、精密機械が唯一ゼロ水準にとどまり、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△15で、前期（1～3月）実績からは2ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械がプラスに浮上する以外は小幅な動きにとどまる。業種全体の『荷動き指数』は△16と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、荷動きの減退圧力が若干強まる見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	繊維・衣服	13	0	69	31	△31	13	0	69	31	△31
	木材・家具	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	パルプ・紙	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	化学・プラスチック	41	5	83	12	△7	41	0	93	7	△7
	窯業・土石	7	14	43	43	△29	7	14	57	29	△15
	鉄鋼・非鉄	26	15	58	27	△12	26	4	73	23	△19
	金属製品	16	12	69	19	△7	16	6	75	19	△13
	一般機械	65	9	60	31	△22	65	8	60	32	△24
	電気機械	71	21	48	31	△10	71	15	57	28	△13
	輸送用機械	39	18	54	28	△10	39	23	44	33	△10
	精密機械	16	6	88	6	0	16	13	81	6	7
その他	17	6	76	18	△12	17	0	76	24	△24	
計	327	12	63	25	△13	327	9	67	24	△15	
卸売業	生産財	8	12	50	38	△26	9	11	56	33	△22
	消費財	8	0	63	37	△37	7	0	57	43	△43
	計	16	6	56	38	△32	16	6	56	38	△32
合計	343	11	63	26	△15	343	9	66	25	△16	

(4) 国際航空 - 輸入 -

■ 4～6月実績（見込み）の『荷動き指数』は、輸送用機械および精密機械の2業種がプラス、窯業・土石がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△14で、前期(1～3月)実績からは2ポイント低下した。

■ 7～9月の『荷動き指数』見通しでは、窯業・土石がマイナスに下降する一方、生産財卸がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻す以外は小幅な動きにとどまり、業種全体の『荷動き指数』は△13と強含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、荷動きの減退が続く見通しである。

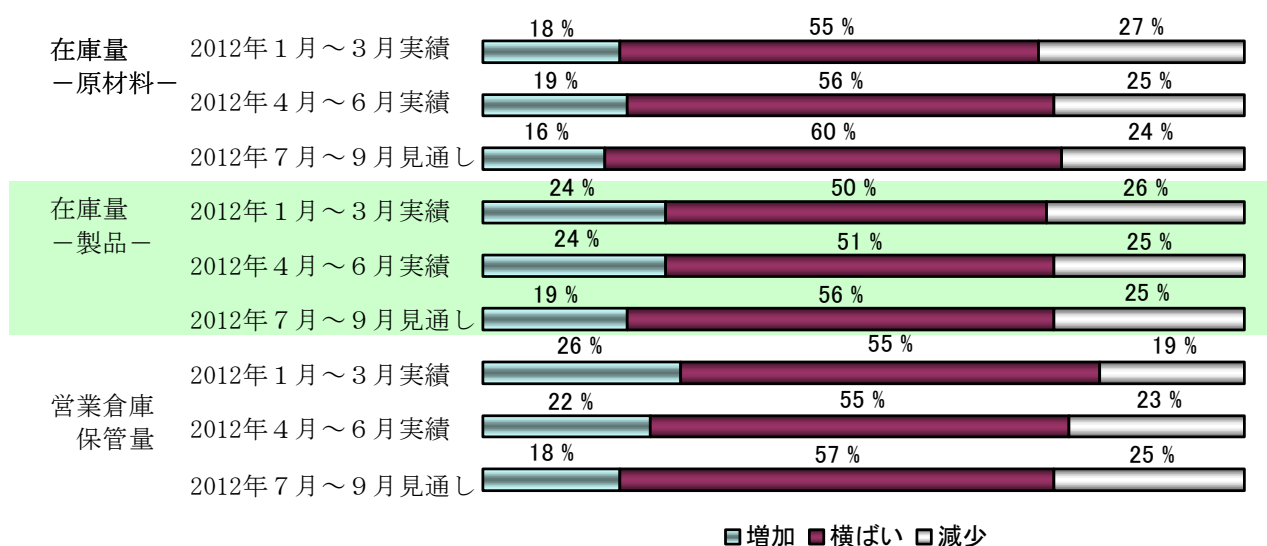
国際航空による輸入量の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	9	0	78	22	△ 22	9	0	78	22	△ 22	
繊維・衣服	12	0	58	42	△ 42	12	0	58	42	△ 42	
木材・家具	5	0	80	20	△ 20	5	0	80	20	△ 20	
パルプ・紙	4	0	75	25	△ 25	4	0	75	25	△ 25	
化学・プラスチック	35	3	91	6	△ 3	35	2	89	9	△ 7	
窯業・土石	6	17	66	17	0	6	0	83	17	△ 17	
鉄鋼・非鉄	23	8	70	22	△ 14	23	0	78	22	△ 22	
金属製品	11	9	73	18	△ 9	11	18	64	18	0	
一般機械	52	4	63	33	△ 29	52	0	69	31	△ 31	
電気機械	62	21	44	35	△ 14	62	21	45	34	△ 13	
輸送用機械	35	20	69	11	9	35	17	69	14	3	
精密機械	14	21	72	7	14	14	36	57	7	29	
その他	19	21	47	32	△ 11	19	15	53	32	△ 17	
計	287	12	64	24	△ 12	287	10	66	24	△ 14	
卸売業	生産財	12	17	50	33	△ 16	12	25	58	17	8
	消費財	7	0	71	29	△ 29	7	0	71	29	△ 29
	計	19	10	58	32	△ 22	19	16	63	21	△ 5
合計	306	11	64	25	△ 14	306	11	65	24	△ 13	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

- 4～6月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、すべての『動向指数』がマイナスとなった。前期(1～3月)実績と比較すると、原材料在庫および製品在庫では『動向指数』が若干上昇したが、営業倉庫保管量では大幅に低下した。
- 7～9月の見通しについては、いずれの『動向指数』も悪化し、引き続きすべてがマイナスとなる。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減の方向に進む見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具など5業種がプラス、鉄鋼・非鉄がゼロ水準で、窯業・土石、電気機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△6で、前期（1～3月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、繊維・衣服および鉄鋼・非鉄がマイナスに沈むほか、パルプ・紙もゼロ水準まで落ち込み、プラスの業種は木材・家具など3業種となる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は2ポイント低下して△8となり、原材料在庫の圧縮が進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	86	15	63	22	△7	85	19	60	21	△2
繊維・衣服	40	25	53	22	3	40	12	68	20	△8
木材・家具	43	35	49	16	19	43	26	56	18	8
パルプ・紙	49	22	62	16	6	49	18	64	18	0
化学・プラスチック	109	16	60	24	△8	109	12	71	17	△5
窯業・土石	37	11	57	32	△21	37	8	65	27	△19
鉄鋼・非鉄	94	17	66	17	0	94	15	65	20	△5
金属製品	45	22	49	29	△7	45	16	53	31	△15
一般機械	82	20	51	29	△9	82	12	56	32	△20
電気機械	114	16	51	33	△17	114	18	48	34	△16
輸送用機械	88	26	47	27	△1	88	18	56	26	△8
精密機械	20	30	45	25	5	20	25	55	20	5
その他	55	13	60	27	△14	55	7	68	25	△18
計	862	19	56	25	△6	861	15	60	25	△10
卸売業										
生産財	29	13	59	28	△15	29	21	48	31	△10
消費財	25	20	64	16	4	25	20	64	16	4
計	54	17	61	22	△5	54	20	56	24	△4
合計	916	19	56	25	△6	915	16	60	24	△8

(2) 在庫量 —製品—

■ 4～6月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、繊維・衣服、木材・家具など5業種がプラスで、残り10業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△1で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『在庫動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに浮上し、窯業・土石もゼロ水準まで戻す一方、鉄鋼・非鉄および金属製品がマイナスに沈むなど、多くの業種で悪化がみられる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は5ポイント低下して△6となり、製品在庫は圧縮圧力が強まる見通しである。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	89	21	57	22	△1	88	20	57	23	△3	
繊維・衣服	41	44	27	29	15	42	29	48	23	6	
木材・家具	42	40	46	14	26	42	29	52	19	10	
パルプ・紙	50	34	46	20	14	50	22	60	18	4	
化学・プラスチック	115	20	56	24	△4	115	20	61	19	1	
窯業・土石	38	18	53	29	△11	38	16	68	16	0	
鉄鋼・非鉄	91	23	58	19	4	91	18	57	25	△7	
金属製品	50	30	44	26	4	50	20	46	34	△14	
一般機械	88	22	52	26	△4	88	15	58	27	△12	
電気機械	116	24	42	34	△10	116	23	44	33	△10	
輸送用機械	88	20	57	23	△3	88	15	59	26	△11	
精密機械	20	15	55	30	△15	20	20	50	30	△10	
その他	57	16	54	30	△14	57	10	60	30	△20	
計	885	24	51	25	△1	885	19	56	25	△6	
卸売業	生産財	49	16	57	27	△11	49	16	55	29	△13
	消費財	36	17	58	25	△8	36	14	64	22	△8
	計	85	16	58	26	△10	85	15	59	26	△11
合計	970	24	51	25	△1	970	19	56	25	△6	

(3) 営業倉庫保管量

■ 4～6月実績（見込み）の『保管動向指数』は、繊維・衣服、精密機械など8業種がプラス、食料品・飲料がゼロ水準で、その他の製造業、生産財卸など6業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△1で、前期（1～3月）実績からは8ポイント低下した。

■ 7～9月の『保管動向指数』見通しでは、金属製品、輸送用機械など5業種がマイナスに沈み、精密機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『保管動向指数』は6ポイント低下して△7となる見込みで、営業倉庫保管量は削減の方向に向かう見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

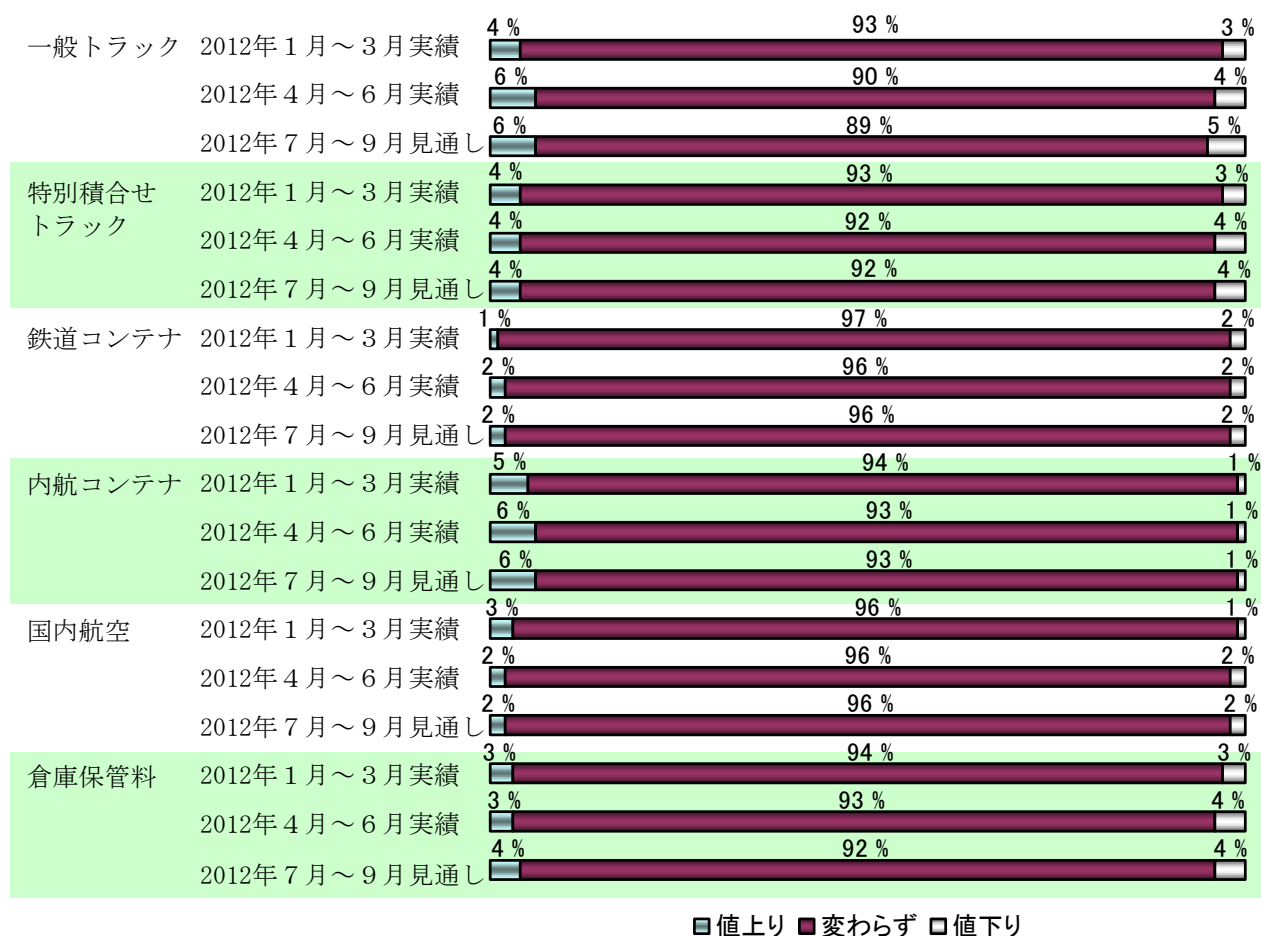
業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	69	25	50	25	0	69	23	54	23	0
繊維・衣服	24	33	46	21	12	24	29	54	17	12
木材・家具	29	17	69	14	3	29	17	76	7	10
パルプ・紙	42	31	45	24	7	42	19	60	21	△2
化学・プラスチック	100	19	54	27	△8	100	18	61	21	△3
窯業・土石	27	15	63	22	△7	27	15	63	22	△7
鉄鋼・非鉄	65	26	59	15	11	65	17	65	18	△1
金属製品	30	30	47	23	7	29	21	45	34	△13
一般機械	62	18	53	29	△11	62	11	54	35	△24
電気機械	71	20	56	24	△4	71	24	46	30	△6
輸送用機械	63	24	56	20	4	63	17	53	30	△13
精密機械	13	23	69	8	15	13	15	70	15	0
その他	36	8	59	33	△25	36	5	64	31	△26
計	631	22	55	23	△1	630	18	57	25	△7
卸売業										
生産財	43	14	56	30	△16	43	16	54	30	△14
消費財	28	25	61	14	11	28	14	68	18	△4
計	71	18	58	24	△6	71	15	60	25	△10
合計	702	22	55	23	△1	701	18	57	25	△7

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 4～6月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、内航コンテナでプラス5となる以外は、残りすべての機関でゼロ水準±2の範囲内に収まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（1～3月）実績との比較では、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しについては、内航コンテナではプラス5と横ばいで推移し、運賃はやや上昇方向に動く見込みであるが、その他の機関では『動向指数』がゼロ水準±1の範囲内にとどまり、総じて運賃・料金水準の大幅な変動は見込めない。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

- 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石、その他の製造業など9業種がプラス、鉄鋼・非鉄および金属製品がゼロ水準で、パルプ・紙など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。
- 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品および生産財卸がプラスに浮上し、精密機械もゼロ水準まで戻す一方、一般機械および輸送用機械がマイナスに落ち込む。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、運賃水準は緩やかな上昇が続く見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	92	7	91	2	5	91	10	88	2	8
繊維・衣服	40	5	95	0	5	40	5	95	0	5
木材・家具	45	11	82	7	4	45	7	89	4	3
パルプ・紙	52	2	88	10	△8	52	5	83	12	△7
化学・プラスチック	117	3	97	0	3	114	4	95	1	3
窯業・土石	36	11	86	3	8	36	8	89	3	5
鉄鋼・非鉄	99	9	82	9	0	99	9	82	9	0
金属製品	54	6	88	6	0	52	6	90	4	2
一般機械	97	3	96	1	2	97	2	95	3	△1
電気機械	116	4	89	7	△3	116	5	87	8	△3
輸送用機械	89	9	83	8	1	88	7	83	10	△3
精密機械	19	0	95	5	△5	19	5	90	5	0
その他	54	11	87	2	9	53	9	87	4	5
計	910	6	89	5	1	902	6	89	5	1
卸売業										
生産財	53	2	94	4	△2	52	8	88	4	4
消費財	38	8	89	3	5	38	8	89	3	5
計	91	4	93	3	1	90	8	89	3	5
合計	1,001	6	90	4	2	992	6	89	5	1

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、その他の製造業など6業種がプラス、鉄鋼・非鉄など4業種がゼロ水準で、精密機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および生産財卸がプラスに浮上する一方、一般機械がマイナスに落ち込み、窯業・土石もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準には大きな変化がないものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	64	5	94	1	4	63	5	95	0	5
繊維・衣服	33	6	94	0	6	33	6	94	0	6
木材・家具	30	7	83	10	△3	30	3	90	7	△4
パルプ・紙	33	3	91	6	△3	33	3	88	9	△6
化学・プラスチック	100	3	96	1	2	98	3	97	0	3
窯業・土石	31	6	91	3	3	31	3	94	3	0
鉄鋼・非鉄	59	3	94	3	0	59	5	92	3	2
金属製品	43	2	96	2	0	41	2	96	2	0
一般機械	79	1	98	1	0	79	1	96	3	△2
電気機械	99	3	90	7	△4	99	2	91	7	△5
輸送用機械	71	8	86	6	2	69	9	86	5	4
精密機械	12	0	92	8	△8	12	0	83	17	△17
その他	38	11	87	2	9	38	8	87	5	3
計	692	4	92	4	0	685	4	92	4	0
卸売業										
生産財	42	2	93	5	△3	41	5	93	2	3
消費財	27	0	100	0	0	27	0	100	0	0
計	69	1	96	3	△2	68	3	96	1	2
合計	761	4	92	4	0	753	4	92	4	0

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、化学・プラスチック、一般機械、輸送用機械の3業種がプラス、繊維・衣服など9業種がゼロ水準で、食料品・飲料、パルプ・紙、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がプラスに浮上する一方、繊維・衣服およびその他の製造業がマイナスに沈む以外に大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準には大きな変化がないものとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	43	2	93	5	△3	42	2	93	5	△3
繊維・衣服	15	0	100	0	0	15	0	93	7	△7
木材・家具	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
パルプ・紙	37	3	92	5	△2	37	0	95	5	△5
化学・プラスチック	88	2	98	0	2	87	2	98	0	2
窯業・土石	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	37	0	100	0	0	37	0	100	0	0
金属製品	23	0	100	0	0	22	0	100	0	0
一般機械	42	2	98	0	2	42	2	98	0	2
電気機械	38	3	94	3	0	38	5	92	3	2
輸送用機械	32	9	88	3	6	32	9	91	0	9
精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
その他	25	4	92	4	0	25	4	88	8	△4
計	417	2	96	2	0	414	2	96	2	0
卸売業										
生産財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
消費財	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
計	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
合計	445	2	96	2	0	442	2	96	2	0

(4) 内航コンテナ運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙、輸送用機械など9業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、精密機械およびその他の製造業の2業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス5で、前期（1～3月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび電気機械でプラス幅が拡大する一方、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄、その他の製造業で下降する以外に動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』はプラス5と横ばいで推移し、運賃水準の上昇基調に変化はないものとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	27	7	93	0	7	27	7	93	0	7
繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
木材・家具	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
パルプ・紙	20	15	85	0	15	20	5	95	0	5
化学・プラスチック	54	4	94	2	2	53	8	92	0	8
窯業・土石	8	12	88	0	12	8	12	88	0	12
鉄鋼・非鉄	24	13	83	4	9	23	9	87	4	5
金属製品	17	6	94	0	6	16	6	94	0	6
一般機械	37	5	95	0	5	37	5	95	0	5
電気機械	35	3	97	0	3	35	9	91	0	9
輸送用機械	22	14	86	0	14	22	14	86	0	14
精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
その他	19	0	95	5	△5	19	0	89	11	△11
計	287	6	93	1	5	284	7	92	1	6
卸売業										
生産財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
消費財	10	0	100	0	0	9	0	100	0	0
計	18	0	100	0	0	17	0	100	0	0
合計	305	6	93	1	5	301	6	93	1	5

(5) 国内航空運賃

■ 4～6月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料など4業種がプラス、木材・家具など7業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期（1～3月）実績からは2ポイント低下した。

■ 7～9月の『運賃動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準に浮上する一方、一般機械がマイナスに落ち込み、食料品・飲料およびその他製造業でもやや悪化する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移し、運賃水準には大きな変化がないものとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	25	8	92	0	8	25	4	96	0	4
	繊維・衣服	12	8	92	0	8	12	8	92	0	8
	木材・家具	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	パルプ・紙	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	化学・プラスチック	41	0	100	0	0	41	0	100	0	0
	窯業・土石	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
	金属製品	21	0	100	0	0	20	0	100	0	0
	一般機械	59	3	95	2	1	60	2	95	3	△1
	電気機械	62	2	95	3	△1	62	2	95	3	△1
	輸送用機械	26	8	92	0	8	26	8	92	0	8
	精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	その他	16	0	94	6	△6	16	0	88	12	△12
	計	318	3	96	1	2	318	2	96	2	0
卸 売 業	生産財	12	0	92	8	△8	12	0	100	0	0
	消費財	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	計	22	0	95	5	△5	22	0	100	0	0
合計	340	2	96	2	0	340	2	96	2	0	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 4～6月実績（見込み）の『料金動向指数』は、生産財卸など5業種がプラス、食料品・飲料など4業種がゼロ水準で、パルプ・紙、精密機械など6業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△1で、前期(1～3月)実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『料金動向指数』見通しでは、窯業・土石および輸送用機械がマイナスに落ち込む一方、食料品・飲料および繊維・衣服がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで浮上する。この結果、業種全体の『料金動向指数』はゼロ水準と強含み横ばいで推移し、料金水準には大きな変化がないものとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	56	4	92	4	0	56	5	91	4	1
繊維・衣服	17	0	100	0	0	17	12	88	0	12
木材・家具	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
パルプ・紙	31	0	87	13	△13	31	3	84	13	△10
化学・プラスチック	91	2	97	1	1	91	3	95	2	1
窯業・土石	22	5	90	5	0	22	0	95	5	△5
鉄鋼・非鉄	49	4	94	2	2	49	4	96	0	4
金属製品	25	0	96	4	△4	24	0	100	0	0
一般機械	58	1	90	9	△8	58	3	87	10	△7
電気機械	72	4	89	7	△3	72	4	89	7	△3
輸送用機械	56	4	95	1	3	56	1	95	4	△3
精密機械	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
その他	37	0	97	3	△3	37	3	92	5	△2
計	544	2	94	4	△2	543	3	92	5	△2
卸売業										
生産財	28	7	93	0	7	28	11	89	0	11
消費財	24	4	96	0	4	24	8	92	0	8
計	52	6	94	0	6	52	10	90	0	10
合計	596	3	93	4	△1	595	4	92	4	0

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、4～6月実績（見込み）の『動向指数』は、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄、その他の製造業の3業種がマイナスで、残り12業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス4で、前期（1～3月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 7～9月の『動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに落ち込み、金属製品、精密機械、消費財卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス3と弱含み横ばいでの推移が見込まれ、増勢は弱まるものとみられる。

物流コスト割合の実績と見通し

業種	2012年4月～6月実績					2012年7月～9月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動向指数	回答社数	構成比(%)			動向指数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食料品・飲料	93	22	67	11	11	93	24	68	8	16
繊維・衣服	46	17	68	15	2	46	13	76	11	2
木材・家具	45	22	62	16	6	45	20	67	13	7
パルプ・紙	51	11	71	18	△7	51	13	69	18	△5
化学・プラスチック	117	15	76	9	6	117	13	79	8	5
窯業・土石	42	26	60	14	12	42	26	62	12	14
鉄鋼・非鉄	100	8	77	15	△7	100	9	75	16	△7
金属製品	54	15	72	13	2	53	17	66	17	0
一般機械	95	17	71	12	5	95	17	74	9	8
電気機械	126	21	62	17	4	126	20	61	19	1
輸送用機械	96	26	52	22	4	96	21	50	29	△8
精密機械	21	14	76	10	4	21	19	62	19	0
その他	55	13	69	18	△5	55	9	76	15	△6
計	941	18	68	14	4	940	17	68	15	2
卸売業										
生産財	57	16	74	10	6	57	14	75	11	3
消費財	42	17	69	14	3	42	14	72	14	0
計	99	16	72	12	4	99	14	74	12	2
合計	1,040	18	68	14	4	1,039	17	69	14	3